

平成 28 年第 8 回 沼津市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 18 日（木）午後 3 時 00 分～午後 4 時 05 分
- 2 場 所 沼津御用邸記念公園 東附属邸 第一学問所
- 3 日 程
 - (1) 会議録署名人の指名（細沼委員 三好委員）
 - (2) 教育長報告
 - (3) 議 案
議第 25 号 平成 27 年度 沼津市教育委員会事務点検評価について
 - (4) 協 議
協議第 8 号 平成 27 年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定について
 - (5) 報 告
 - 1) 平成 28 年度 沼津市奨学生の決定について
 - 2) 第 5 回静岡県東部ふれあい体験塾の実施報告について
 - (6) そ の 他
な し
- 4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 細沼早希子、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、教育次長 井原正利、市立沼津高等学校校長兼中等部校長 川口孝博、教育企画課長 真野正実、学校管理課長 山本貴史、教職員研修センター所長 望月まゆみ、生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長兼少年自然の家所長 原恵子、青少年教育センター所長 小林孝子、市立沼津高等学校事務長 杉山善英、スポーツ振興課長兼勤労青者体育センター所長兼市民体育館長 山崎真由美、学校教育課長補佐 鈴木章宏、調整担当学校管理課長補佐 金子昭人、教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課指導主事 本杉淳、教育企画課主任 和泉百映

5 会議内容

服部教育長が、午後 3 時 00 分開会を宣言する。

服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

また、協議事項については、9 月沼津市議会定例会に提出する案件のため、非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 1 名

(1) 会議署名人の指名

服部教育長より 会議録署名人に細沼委員、三好委員を指名する。

(2) 教育長報告

はじめに、私より、報告をさせていただきます。

本日は、大変暑い中、御用邸記念公園の視察をしていただき感謝する。静岡県では 57 年ぶりに国指定名勝となることになった。本日視察をし、私も初めて知ることも多く、景色を見て沼津の誇るべき御用邸記念公園地を多くの方、まず沼津市民に知っていただき親しんでいただきたいと感じた。今年、都市計画部で整備について進めて行く予定であるので、今後を楽しみにしていきたいと思う。

次に、8月8日（月）から12日まで4泊5日で実施された東部ふれあい体験塾の報告については、生涯学習課からのちほどあるが、私も、出発式、帰着式に出席した。今年から小学校5、6年生を加えた研修生60名と高校生の研修リーダーが6名、職員含め総勢81名が、元気に出発した。小学生からは43名の参加があり、出発間際は親子ともども不安そうな様子が見られた。帰着式には、全員が元気に帰ってきた。帰着式での報告や感想では、楽しい体験と併せて、いくつかのトラブルもあったようであるが、それを自分たちで解決し、乗り越えて過ごしてきたという自信が感じられた。真っ黒に日焼けした表情や笑顔からは、貴重な体験をし、忘れられないかけがえのない思い出を作ってきたことが、感じとれた。大変意義ある体験になったのではないかと感じられた。また、8月27日には、事後研修があり、振り返り等を行うとのことなので、どのような感想や文集が作成されるのか、楽しみである。

また、21日（日）には、「2016 高校生しゃべり場 in ぬまづ」が開催される。教育委員の皆様には、ご案内させていただいた。私も今回初めて出席させていただくが、高校生の沼津に対する考えや思いを聞くことができる機会のため、大変楽しみにしている。

以上で、私からの報告とさせていただきます。

それでは、事務局から、その他の9月の主な行事等について報告をさせていただきます。

教育企画課長

8月の教育長、教育次長が出席される会議や行事等について、ご報告をさせていただきます。お手元にある、8月 行事等一覧をご覧ください。

2日（火）には、育英奨学生の選考委員会が開催されている。昨年度までは、教育委員長にご出席をいただいていたが、法改正に伴い、今年度からは教育長が出席させていただいている。38名の育英奨学生を選考している。のちほど、今年度の選考状況等については、学校管理課長より報告がある。

また、先ほど教育長から報告があったが、21日（日）には、「2016 高校生しゃべり場 in ぬまづ」がプラサヴェルデで開催される。今年度は、高校生16名が出席する。その中で1名がコーディネーターとなり「高校生からみた沼津」と題して討論される。ぜひ、教育委員の皆様にも、ご出席いただければと思う。具体的には、8月21日プラサヴェルデで午後1時から2時間程度で予定しているので、よろしく願いたい。

また、27日（土）には、「沼津市文化財保護審議会」が開催される予定である。先ほどご案内いただいた沼津御用邸記念公園に関して、名勝指定についての報告を予定しているようである。

また、31日には、県内35市町の教育長が一同に会する、静岡県市町教育長研修会が開催される予定であり、教育長が出席を予定している。以上。

服部教育長 これについて、何か、質問等いかがか。

特にないようなので、以上で、教育長報告とさせていただきます。

<議 案>

議第25号 平成27年度 沼津市教育委員会事務点検評価について

（教育企画課長 資料に基づき説明）

服部教育長 説明が終わったが、本件に対する、ご質問ご意見等はいかがか。

- 三好委員 評価委員の皆様から、概ね良い評価を受けているようである。学校教育について「がんばる学校応援事業」は全国的に珍しくとても良い、また、「いきいき学校生活応援スタッフ配置事業」については、市独自の配置をしておりとても良いという評価であったが、実際に現場が足りているかという点、まだ必要であると感じる。現場の声を良く聞き、出来る限り手厚くしてほしいと感じる。また、がんばる学校応援事業については、各学校がその予算を使いやすいあり方であってほしい。
- 細沼委員 教育委員会と事務局との関係について、第3章では評価委員会の意見の概要が掲載されている。前回の定例会の議会報告の中で、現在教育委員は4名であり、合議制の機関としての教育委員会は教育長と教育委員4名である。事務局と教育委員は、できる限り情報を共有することが大切であり、教育委員に重要なことを後から知らせることがあったのかというような質問があったと思うが、細かいこと全てを知ることは難しくても、重要なことについてはできる限り教育委員に事前に情報を共有してもらうことが必要であると感じる。
- 服部教育長 おっしゃるとおりであると思う。定例教育委員会だけでなく、必要な時に必要な情報をその都度お伝えしていくことが大切であるので、そのように努めて行きたい。
- 土屋委員 評価委員会で小中学校の適正規模・適正配置の概略方針が出たことが評価されているが、次年度からは具体的に進めて行く方針であるのか。
- 教育企画課長 はい。教育委員会としての概略方針は、2月議会で説明報告しているが、現在、市長部局と協議しており、まちづくりの観点を含め、市としての基本方針を作成している最中である。11月までに基本方針（案）を作成するが、その前に教育委員の皆様にご報告をさせていただく。1ヶ月間のパブリックコメントを実施し、意見を踏まえて策定という形となる。実際に、地区の推進については、まず戸田地区は、子どもの数が激減しているため、昨日も戸田に行き、戸田地区推進委員の方々にご理解いただき、委員になっていただくことと、今年度のスケジュールは、9月に第1回戸田地区推進委員会を立ち上げたいと考えていることを伝えた。教育委員会の方向性を伝えたくうえで、戸田小学校中学校は同一敷地内にあり、小中連携の研究指定校にもなっているので、静浦小中一貫学校の成果等を考慮し、そのような教育が戸田でもできることを伝えながら、推進していきたい。
- 川口委員 家庭教育について、評価で記載されている母親や父親に対する支援が重要であることは、本当にその通りであると思う。学校教育も大切であるが、家庭での親からの教育をどのようにするかということがわからない親が多いので、そこを発信すると変わってくると思う。
- 服部教育長 ご意見も尽きたようなので、お諮りする。議第25号について原案とおおり可決することにご異議はいかがか。
- 各委員 異議なし。
- 服部教育長 異議なしと認める。議第25号については、原案とおおり可決することに決する。

<協 議>

協議事項については、9月沼津市議会定例会に提出する案件であるため、非公開。

<報 告>

服部教育長 それでは、傍聴人の方は、これから先の会議については、入室を許可するので、事務局で遵守事項等の所作を願う。

- 1) 平成28年度 沼津市奨学生の決定について
(学校管理課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 以前、選考基準で10人だが11人目と10人目の方の選考が難しかったという
ことがあったと思うが、今年は問題なく決定できたのか。

学校管理課長 基準に照らし合わせて順位付けしたうえで、選考委員による加点を加えてあ
らたに順位付けをした中で、9番目が3名いた。選考委員によるさらなる選考
をしていただいて決定した結果である。

三好委員 11人にすることはできなかったのか。

学校管理課長 10人を限度に選考した結果である。予算についても10名以内のため10名で
決定した。

三好委員 それ以上、予算が取れないということなら、仕方がない。

服部教育長 それではご意見も尽きたようなので、本件については、報告を受けたとい
うことでご了承願う。

- 2) 第5回静岡県東部ふれあい体験塾の実施報告について
(生涯学習課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 8月8日から12日の3泊4日は、夏の本当に一番暑い時期の実施で皆大変で
あったと思う。報告の中で、十分に分析されていたので、今後のあり方を含め、
実施についてご検討して行っていただいた方が良いと思う。もとは少年の船が
発端であり、事業仕分けでたった1票の差で取りやめとなった。そのため、全
く違うものとして、ふれあい体験塾が始まり5回目である。昨年度までは中学
生以上で、今年から小学校5年生以上として募集したから中学生の参加者が少
なかったのか、そもそもこの事業の存続意義は何かということになりかねない
と思う。

私がやっている、おやじの会で10年ほど続けている事業で、小学4年生から
6年生までは毎年1回学校で1泊のキャンプをするもので、60人から70人程
度集まる。その中に、経験者の中学生が10人参加する。たった1年の違いで
あるが、体力面も意識にも大きな違いがある。これだけ違うので、今後実施し
ていくに当たり、趣旨とあり方を見直すべきであると感じる。

細沼委員 引率の職員で、沼津市からはどのような方が参加されたのか。

生涯学習課長 生涯学習課からは、私と、担当係長、担当者の3名、規律指導として消防職
員に、市立病院の看護師、健康づくり課の保健師、学校から、養護教諭と、昨
年度の経験者の図書館事務長補佐が参加した。沼津市から8名の参加である。

細沼委員 引率の職員の負担は、大きいのか。

生涯学習課長 今回は、大変大きかったように感じる。新たに小学生が参加したことによる負担増は大変なものがあった。熱中症にさせないようにするため、看護師からはこれ以上は見ることはできないという意見があり、中学生だけの参加とは、違うものがあった。これ以上、職員を減らすことはできないと感じる。

服部教育長 塾長は3年ごとの持ち回りと言うことで、今年は私は参加しなかったが、函南町の塾長である教育長には、沼津の引率の職員が経験を活かして大活躍であったとお褒めの言葉をいただいた。

川口委員 どの企画の行事かはわからないが、5日間のアウトドア体験教室というのがあり、全教室に参加が前提で、場所も全て決まっておき、全てバラバラであり、30人の定員に120人が集まった。このふれあい体験塾も、参加したい、参加させたいとニーズがあっても、4泊5日と見ると考えてしまう。工夫をすれば人が集まると思う。

服部教育長 それではほかにはないので、本件については、報告を受けたということでご了承願う。

服部教育長 その他に何かあるか。

服部教育長 特にないようなので以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時05分 閉会

協議事項については、9月沼津市議会定例会提出案件であるため、当日非公開としたが、9月市議会での審議が終了したため、公開する。

<協 議>

協議第8号 平成27年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定について

(教育次長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対する、ご質問ご意見等はいかがか。

細沼委員 歳出の市民文化センター費について、翌年度に2,400万円繰越、不要額が1,400万円ほどあるが、文化センターの外壁のブロックが落下した箇所があり通行止めになっていて不便である。当面の外壁を整備することは、予算に入っているのか。

文化振興課長 翌年度に繰り越した2,400万円は、建築後30年以上の経年劣化のために、施設と設備の劣化調査を実施するためである。外壁を含めて実施するものである。現在、通行止めになっている箇所についても含めて劣化調査を実施している。今年度、改修の基本計画を立てる予定である。それに先立ち、27年度末に劣化調査の業務委託費を補正予算で計上し、27年度末に契約のみ実施し、業務は、繰越して今年度を実施していく。劣化調査は11月末に終了予定のため、その後改修計画を立てて行く。改修自体の予算は、平成27年度には入っていない。安全確保のために、通行止めに行っていることをご理解いただきたい。現在、植栽のところの樹木を伐採し、道を通して当面は通っていただくことを考えている。

細沼委員 部分的に、落下している部分の外壁を修復するという事はしないのか。

文化振興課長 今のところは、部分的に修復することは考えていない。一部南側は修復したところもあるが、そこを含め劣化調査をし、その結果を待っている。緊急的にやる必要がある部分が出てきたら、その部分はやることを考えている。

三好委員 平成26年度の決算額と比較すると歳入が、23億円ほど増加しているが、この理由は何か。

教育次長 地方交付税の交付金があるが、これが5%から8%になったため増額した。

服部教育長 ご意見も尽きたようなので、協議第8号については、原案のとおり議案とすることよろしいか。

各委員 異議なし。

服部教育長 異議なしと認める。